

学校番号				
3	7	0	1	0

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 8 年 3 月 25 日

札幌市立 福井野中学校

1 今年度の重点目標

生徒と教職員一人一人が「自分が大切にされている」と実感でき、生徒が毎日通いたいと思える学校づくりの推進

2 本年度の経営方針～神聖な教育的価値観の構築～

- ◆生徒の実態に応じた教育課程の編成
- ◆生徒を主体とした自治的な活動の推進
- ◆信頼に応える開かれた学校づくり
- ◆危機管理の定着と生徒の生命の安全確保

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	重点項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
目指す子ども像	「自律した自分づくり」を目指す生徒	「自分づくり」に向かう教育課程の編成	B	生徒が成長を実感でき、保護者や地域に子どもたちの成長を責任をもって説明できる教育実践及びカリキュラムづくりを行うことにより、生徒の自己肯定感の向上を図る。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		・地域との連携をより強めて、生徒の自己肯定感を高めてほしい。				
調和のとれた体育のち	学ぶ力	「学ぶ力」育成プログラムの実施	B	授業が「わかる」「できる」を実感できるよう、生徒と教師の総報告で展開する授業づくりに努め、学びの見通しをもてる工夫を行い、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。	A	A
	豊かな心	いじめの防止	A	いじめ防止委員会を効果的に運用し、教職員間の緊密な連携に努め、継続的・組織的に対応する。シャボテンログの有効活用等、生徒の実態把握に努める。	A	A
	健やかな体	「健やかな体」育成プログラムの実施	B	体育学習の充実や学校教育全体と関連付けた健康教育の推進を進めるとともに、全校生徒が参加できるような運動機会を積極的に設定する。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		・シャボテンログの活用はとてもよいことである。 ・chromebookの効果的な活用とICTの活用能力が今後は求められるので、力を高めてほしい。				
札幌らしい特色ある学校教育の推進	学びの基盤となる【読書】	落ち着いた雰囲気で行われる朝読書の実践と学校図書館活用の啓発	A	朝読書や学校図書館のさらなる活用により、学習における基礎・基本の定着の土台づくりを図るとともに、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにする機会づくりを継続していく。	A	A
子どもの発達への支援	不登校支援	校内学びの支援委員会を中心とする組織的対応	B	学校がより安心できる居場所となるようシャボテンログの有効活用等を進め、早期対応を心がける。また、生徒及び保護者に寄り添った支援策を組織的に検討し実施するように努める。	A	A
信頼される学校の創造	家庭や地域とともに進める学校づくり	教育活動の公開・説明CS設置を見通した連携推進	B	CS準備委員会の活動を中心に、目指す子ども像を小中で共有し、地蔵生徒、教師間の交流をさらに深め、義務教育9年間の連続した学びを充実させる。また、取組の内容とその効果について保護者や地域に発信する。	A	A
教科等の枠組を越えた教育	進路探究学習（キャリア教育）	特別活動及び総合的な学習の時間の有効活用	B	様々な教育活動が「自律した自分づくり」につながるように考慮し、生徒一人一人が社会的・職業的自立に向け、見通しをもって取り組めるような指導に努める。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		・外部の力をさらに生かした教育活動に期待したい。 ・自己評価の基準が厳しいと思う。すべてA評価でも良いと思う。				
学校独自に設定する分野	小中一貫教育に向けた取組		B	目指す子ども像を小中で共有し、児童生徒及び教職員間の交流をさらに深め、義務教育9年間の連続した学びを充実させる。また、CSの取組の内容について、保護者や地域に積極的に発信するよう努める。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		・継続して取り組んでいただきたい。				